

# 「安楽小学校の安楽春祭りにおける正月踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

志布志市立安楽小学校

## 2 学年・人数

3年生から6年生（14人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和元年10月～令和2年1月 安楽地区公民館

### (2) 発表の日時・場所

令和元年10月13日（日） 安楽校区運動会での披露

令和2年2月8日（土） 宮神社での奉納（山宮神社）

令和2年2月9日（日） 安楽（やすら）神社での奉納（安楽神社）

※2月8・9日に14か所の集落を周り踊ります。

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

### (1) 名称

安楽春祭り 正月踊り

### (2) 由来

山宮神社の春祭りでは，古くは「棒踊り」が奉納されていたが，その後近郷近在から，春祭りの奉納に集まったニセ（青年）達により「手拍子」（水神踊り＝八月踊り，川踊り）が奉納されるようになった。「棒踊り」は，明治中期頃から奉納されなくなり，「手拍子」だけの奉納となり，この「手拍子」も，安楽地元の青年達だけで奉納するようになり，「正月踊り」の名称が生まれ，現在に受け継がれている。

### (3) 構成等

山宮神社，安楽神社に奉納される正月踊りは，目だけを出した黒頭巾に白黒の装束で舞われる。古くは南九州の近郷近在から踊りに来ていたが，現在は保存会を中心に「出端（では）」「お市後家女（おいちごけじょ）」「一つとの」「帖佐節（じょさん）」「安久節（やっさぶし）」などの9つの踊りが奉納される。

## 5 保存会や地域との連携の具体

本市で制定されている4月24日の「しぶしの日」に，「正月踊り保存会」の方を学校に招いて，「正月踊り」について，指導していただいた。はじめに，昨年，正月踊りを踊った児童に踊ってもらい，保存会の方に踊り方のポイントを教えていただいた後，全校で輪になって正月踊りを踊った。

また，3年生の総合的な学習の時間の「安楽をもっと知ろう」という单元の中で，「安楽春祭り」をテーマに，地域の方や保存会の方から話を聞きながら，調べ学習をしている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

正月踊りが踊られる安楽春祭りは、毎年2月の第2土曜日・日曜日に行われている。これまで、土曜授業の関係で、正月踊りの踊り子の児童は、土曜日の午前にある山宮神社での奉納は参加できなかったが、本年度は、第2週の土曜授業を第3週に変えたため、山宮神社奉納でも踊ることができた。また、正月踊りの踊り子ではない多くの児童が、山宮神社奉納を見に来ていて、正月踊りに触れることができた。

## 7 取組の様子



「山宮神社奉納」



「安楽神社奉納」



「集落での披露」



「しぶしの日での取組」

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 今年、山宮神社での奉納でも踊れたのでうれしかった。また、周りの人が手拍子をしてくれるので、踊っていてとても楽しかった。(踊り子児童)
- ・ 今年、お父さんが正月踊りを踊りました。来年は、ぼくもお父さんといっしょにおどりたいです。(1年児童)

### 【教員】

- ・ 堂々と踊る子供たちの姿に感動しました。9曲の踊りを2か所の神社と14か所の集落で踊り続ける子供たちは、たいへんだとは思いますが、最後までしっかり踊りきって、とても立派でした。

### 【保存会】

- ・ 地域の伝統行事を、こうやって子供たちが守ってくれていることがとてもありがたい。また、今年、学校の協力により、土曜日から多くの子供たちの姿が見られた。これからも、子供たちの力で更に盛り上げていってほしい。